

# 稲作情報

## (号外:台風被害防止・適期刈り取り)

発行日:令和6年8月27日  
発行:仙北地域振興局農林部農業振興普及課

強い台風10号は、当初の予想よりも動きが遅くなっており、台風による強風や大雨の影響が長く続くことが予想されます。台風の進路や発達度合いによっては強風や大雨による農作物等への被害が懸念されることから、被害防止対策により農作物等の管理を万全に行ってください。

また、出穂期以降は気温が高く経過していることから、適期の刈り取りと刈り遅れによる品質低下防止を徹底しましょう。

## 1. 台風による農作物への被害防止対策について

台風の接近に伴い、フェーン現象により高温や強風になる場合があるため、最新の気象情報を確認しましょう。

また、本年の水稻は全体的に草丈が長い生育となっていることから、強い雨や強風による倒伏が懸念されます。倒伏した場合は品質低下を軽減させる対策を講じてください。

### 【事前対策】

- ・排水路、ほ場内の排水溝などの点検と補修整備を行います。
- ・フェーン現象等による白穂の発生、籾の登熟停止や枝梗の活力低下を防ぐため、用水が確保できる場合は湛水状態としてください。

### 【事後対策】

- ・ほ場に停滞水が確認される場合は、収穫作業に支障がでないように排水に努めます。
- ・早期に倒伏した場合は、稲株を引き起こし、穂を地表面から離して束ねるなど、登熟の低下を防ぎます。
- ・登熟後期の場合は、早めに刈り取るとともに、追い刈りや横刈り等により刈り取り精度の向上に努めます。
- ・穂発芽した場合は、刈り分けを行い品質低下を防止します。

## 2. 刈り遅れによる品質低下防止を徹底！

出穂期後の日平均気温の積算による刈り取り目安は、あきたこまち等の早生種では950～1,050℃、めんこいな・ゆめおぼこ等の中晩生種は1,050～1,150℃です。

本年は出穂期以降、平年を上回る高温で経過しており、積算温度はやや早いペ

一スで増加していることから、刈り取り適期は早まることが予想されます。

また、今後も気温が高く経過する見込みであることから、刈り遅れによる品質低下(特に、胴割れ米の発生)に注意が必要です。

下記のとおり、刈り取り適期は積算気温や出穂後日数を判断の目安にしながら、最終的にはほ場の籾の黄化程度を必ず確認したうえで判断してください。

### 【収穫時期の判断目安】

①出穂後日数：早生種(あきたこまち・秋のきらめき)が45日前後、中晩生種(ゆめおぼこ、サキホコレ等)は50日前後が目安です。

②積算気温：早生種は950～1,050℃、中晩生種は1,050℃～1,150℃に到達する日を目安にします。また、積算気温が早生品種で1,100℃、中晩生種で1,200℃を超えると、立毛中でも胴割れ米が急増するので適期収穫に努めてください。

③積算日照時間：あきたこまち(収量基準570kg/10a)の場合、出穂期翌日からの積算日照時間が200時間に到達した日を目安とします。

※本年は十分な日照量があることから、積算気温による判定を主に参考にします。

④籾・枝梗の黄化程度：(籾の熟色)

葉や枝梗が緑色であっても籾の黄化程度が90%の頃  
(枝梗の黄化程度)

主軸の上から5番目の枝梗まで黄化した頃

表1 アメダスデータにおける積算気温到達日予測

| アメダス<br>地点 | 積算気温     | 出穂期   |       |              |       |       |       |
|------------|----------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|
|            |          | 7月26日 | 7月29日 | 8月1日<br>(盛期) | 8月4日  | 8月7日  | 8月10日 |
| 大曲         | 950℃到達   | 9月2日  | 9月5日  | 9月8日         | 9月12日 | 9月16日 | 9月20日 |
|            | 1,050℃到達 | 9月6日  | 9月9日  | 9月13日        | 9月17日 | 9月21日 | 9月26日 |
|            | 1,150℃到達 | 9月11日 | 9月14日 | 9月18日        | 9月22日 | 9月27日 | 10月2日 |
| 角館         | 950℃到達   | 9月2日  | 9月5日  | 9月8日         | 9月12日 | 9月16日 | 9月21日 |
|            | 1,050℃到達 | 9月6日  | 9月10日 | 9月13日        | 9月17日 | 9月22日 | 9月26日 |
|            | 1,150℃到達 | 9月11日 | 9月14日 | 9月18日        | 9月23日 | 9月27日 | 10月2日 |
| 田沢湖        | 950℃到達   | 9月3日  | 9月7日  | 9月10日        | 9月14日 | 9月18日 | 9月23日 |
|            | 1,050℃到達 | 9月8日  | 9月12日 | 9月15日        | 9月20日 | 9月24日 | 9月29日 |
|            | 1,150℃到達 | 9月13日 | 9月17日 | 9月21日        | 9月25日 | 9月30日 | 10月6日 |

※8月25日まで本年値、それ以降は平年値で試算

**コンバインや乾燥機等の点検・整備を万全に行いましょう！**  
**計画的な作業や安全確認の徹底により、農作業事故を防ぎましょう！**

# 稲作情報 No.9

発行日: 令和6年8月22日  
発行: 仙北地域振興局農林部農業振興普及課

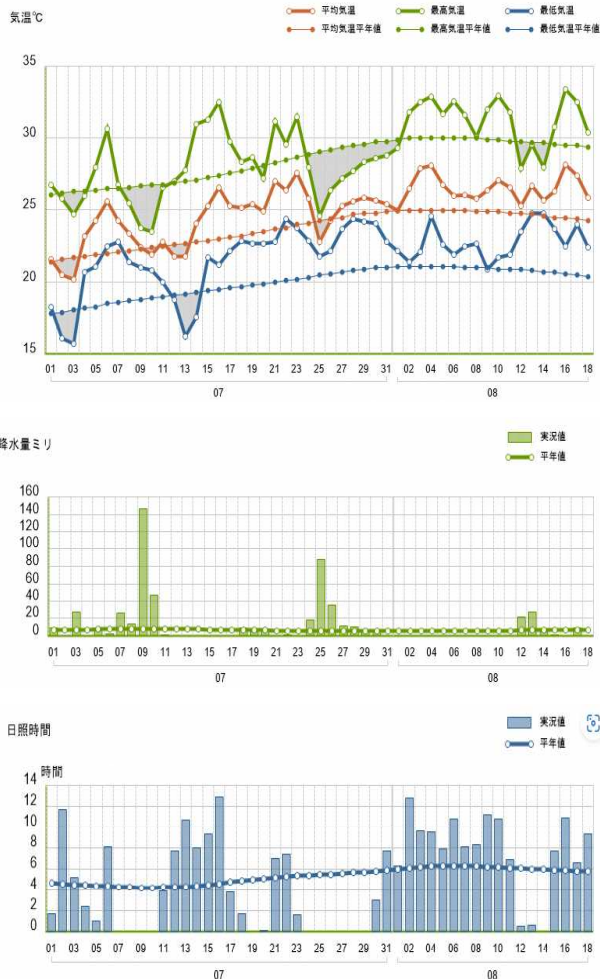
～成熟期はやや早まる見込み。適期収穫を徹底しましょう！～

## 生育状況 および 気象概要

### 1. 気象経過と生育状況(水稻定点調査結果)

#### これまでの気象経過(アメダス大曲)

図1 半月ごとの気象経過(秋田県農業気象システムより引用)



#### 向こう1か月の気象予報(8/17～9/16)

- ・仙台管区気象台より令和6年8月15日に発表された1か月予報によると、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多くなる予報です。
- ・平均気温は、東北日本海側で高い確率70%で、週別の気温は1週目(8/17～8/23)および2週目(8/24～8/30)は、高い確率が70%、3～4週目(8/31～9/13)は高い確率60%です。
- ・降水量は多い確率が40%です。

図2 東北地方 1か月予報(気象庁発表)

| 気温、降水量、日照時間の各確率(%)   |        |                               |
|----------------------|--------|-------------------------------|
| 気温                   | 東北日本海側 | 向こう1か月<br>08/17～09/16         |
|                      |        | 1週目<br>08/17～08/23            |
|                      |        | 2週目<br>08/24～08/30            |
|                      |        | 3～4週目<br>08/31～09/13          |
| 気温                   | 東北太平洋側 | 向こう1か月<br>08/17～09/16         |
|                      |        | 1週目<br>08/17～08/23            |
|                      |        | 2週目<br>08/24～08/30            |
|                      |        | 3～4週目<br>08/31～09/13          |
| 降水量                  | 東北日本海側 | 向こう1か月<br>08/17～09/16         |
|                      | 東北太平洋側 | 向こう1か月<br>08/17～09/16         |
| 日照時間                 |        | 東北地方<br>向こう1か月<br>08/17～09/16 |
| ■低い(%) ■平均(%) ■高い(%) |        |                               |

7月下旬～8月上旬の気温は高く経過し、日照時間は7月下旬はかなり少なく、8月上旬はかなり多くなりました。

本年は生育期間を通して草丈が長く推移していることや、局所的な降雨により8月中旬以降から倒伏しているほ場が散見されます。

管内の出穂期(盛期)は8月1日(平年差1日早)であり、8月15日～19日に実施した定点調査結果(あきたこまち、10地点平均)は、穂数は447本/㎡(平年比100%)、着粒数は73.4粒/穂(平年比101%)でいずれも平年並であることから、㎡当たり全粒数は32.6千粒(平年比101%)で平年並です。葉数は13.2葉(平年差+0.5葉)となっています。

## 当面の技術対策

### 1. 斑点米カメムシ類防除を徹底しましょう。

8月7日に秋田県病害虫防除所から、**斑点米カメムシ類に関する防除対策情報第12号が発表されています**。斑点米カメムシ類の発生量はほ場間差が大きく、水田内にノビエやカヤツリグサ科雑草が多く発生しているほ場では発生量が多く確認されています。

水田内雑草が発生しているほ場などでは、斑点米カメムシ類の発生量が多くなると予想されることから、出穂後10日後の薬剤防除に加えて、出穂期24日後頃にエクシード剤(収穫7日前まで)またはキラップ剤(収穫14日前まで)による茎葉散布を徹底してください。また、薬剤防除の際は収穫前日数に留意してください。

### 2. 登熟を向上させる水管理

落水時期が早いと、葉色の低下や葉の枯れ上がり、根の機能減退等により登熟が妨げられ収量、品質、食味が低下を招くことが多いため、早期落水は避けましょう。出穂後30日間は間断かん水により土壤水分を保つことで稲体の活力を維持しながら、登熟の向上に努めましょう。

### 3. 適期刈り取りにより品質向上を目指しましょう！

前年は出穂期以降の異常高温の影響により白未熟粒が発生した他、刈り遅れによる胴割れ米等の発生により品質が低下しました。

本年は出穂期以降、気温が平年より高く経過しており、今後も気温が高く経過する見込みであることから、出穂期翌日からの平均気温の積算による刈り取り適期はやや早まる予想です。

刈り取り適期は積算気温の他、積算日照時間や出穂後日数も判断の目安にしながら、最終的には籾の黄化程度を確認して判断してください。

#### 【収穫時期の判断目安】

- ①出穂後日数: 早生種(あきたこまち・秋のきらめき)が45日前後、中晩生種(ゆめおぼこ、サキホコレ等)は50日前後が目安です。
- ②積算気温 : 早生種は950～1,050℃、中晩生種は1,050℃～1,150℃に到達する日を目安にします。また、積算気温が早生品種で1,100℃、中晩生種で1,200℃を超えると、立毛中でも胴割れ米が急増するので適期収穫に努めてください。
- ③積算日照時間: あきたこまち(収量基準570kg/10a)の場合、出穂期翌日からの積算日照時間が200時間に到達した日を目安とします。
- ④籾・枝梗の黄化程度: (籾の熟色)葉や枝梗が緑色であっても籾の黄化程度が90%の頃(枝梗の黄化程度)主軸の上から5番目の枝梗まで黄化した頃

表1 アメダスデータにおける積算気温到達日予測

| アメダス<br>地点 | 積算気温     | 出 穂 期 |       |              |       |       |       |
|------------|----------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|
|            |          | 7月26日 | 7月29日 | 8月1日<br>(盛期) | 8月4日  | 8月7日  | 8月10日 |
| 大曲         | 950℃到達   | 9月2日  | 9月6日  | 9月9日         | 9月13日 | 9月17日 | 9月21日 |
|            | 1,050℃到達 | 9月7日  | 9月10日 | 9月14日        | 9月18日 | 9月22日 | 9月27日 |
|            | 1,150℃到達 | 9月11日 | 9月15日 | 9月19日        | 9月23日 | 9月28日 | 10月3日 |
| 角館         | 950℃到達   | 9月2日  | 9月6日  | 9月9日         | 9月13日 | 9月17日 | 9月21日 |
|            | 1,050℃到達 | 9月7日  | 9月10日 | 9月14日        | 9月18日 | 9月22日 | 9月27日 |
|            | 1,150℃到達 | 9月11日 | 9月15日 | 9月19日        | 9月23日 | 9月28日 | 10月3日 |
| 田沢湖        | 950℃到達   | 9月4日  | 9月7日  | 9月11日        | 9月15日 | 9月19日 | 9月24日 |
|            | 1,050℃到達 | 9月9日  | 9月12日 | 9月16日        | 9月20日 | 9月25日 | 9月30日 |
|            | 1,150℃到達 | 9月14日 | 9月17日 | 9月22日        | 9月26日 | 10月1日 | 10月7日 |

※8月21日まで本年値、それ以降は平年値で試算

#### 4.収穫後はきめ細やかな乾燥・調製で高品質米の仕上げを！

○高水分粳のコンバイン収穫は損傷が大きいため、粳水分25%以下で作業を行います。

○乾燥方法は二段乾燥を基本とし、乾燥の仕上がりは、玄米水分15.0%を目安とします。

過乾燥になると胴割粒が発生するとともに、食味が低下するので注意します。

○品種切り替え時はコンバインや乾燥機その他、運搬車等も丁寧に掃除をして、異品種の混入を防いでください。

**コンバインや乾燥機等の点検・整備を万全に行いましょう！**

**計画的な作業や安全確認の徹底により、農作業事故を防止しましょう！**